

戦争をさせない Anti-War Committee of 1000 1000人委員会

1000人委員会ニュース
NO.45
(2016年6月8日)
〒101-0063 東京都千代田区
神田淡路町1-15 塚崎ビル三階
TEL03-3526-2920
FAX03-3526-2921



6月7日

市民連合と4野党が政策合意

参院選勝利へ総力を!

安倍政権の暴走をストップさせるためにも 参院選での勝利を!

6月7日、市民連合(安全保障法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合)は参議院議員会館内で、ママの会やSEALDs、学者の会のメンバーらが参加する中、野党4党と政策合意に関する調印式ならびに共同記者会見を行いました。

冒頭、挨拶にたった山口二郎さん(立憲デモクラシーの会)は「我々の後押しと野党4党の英断もあり画期的な野党統一が実現した。われわれ市民連合は、安保法の廃止、立憲主義の回復、人間の尊厳を守る政治の実現という三点の理念を掲げてきたが、特に三点目の尊厳を守る政治の実現という点の具体的な政策要望書がまとまったので4野党の代表に提出したい」と述べました。

次に、SEALDsの諏訪原健さんが、若者・学生からの要望として発言、「安倍総理は消費増税の延期やアベノミクスの成果を争点にしたと言っているが、本当に狙いが改憲にあることは明らか。この改憲を阻止するため、なんとしても改憲勢力の3分の2獲得を阻止してほしい。その上でこれまでの政策から落ちこぼれてきた若者や女性含めて、最低賃金制の大幅改善、学生への給付型奨学金への改善、同一価値労働同一賃金制、非正規雇用の改善など一部の富裕層優先の経済政策ではなく、格差是正、公正で持続可能な経済政策に転換してほしい。」と訴えました。



またママの会の西郷南海子さんは「ママの会はだれの子どもも殺させないとの願いで活動してきたが、沖縄の米軍関係者による女性殺人事件の例にもあるように子どもや女性の尊厳が守られていない状態が続いている。消費税率が5%から8%にあがったとき、社会保障に回すといわれたが、保育園の安全が高まり、保育園に入りやすくなったという実感はない。安倍政権は子どもをたくさん産んで国に貢献してほしいと言っているがそんな状況にない。このことをぜひ分かってほしい」と訴えました。

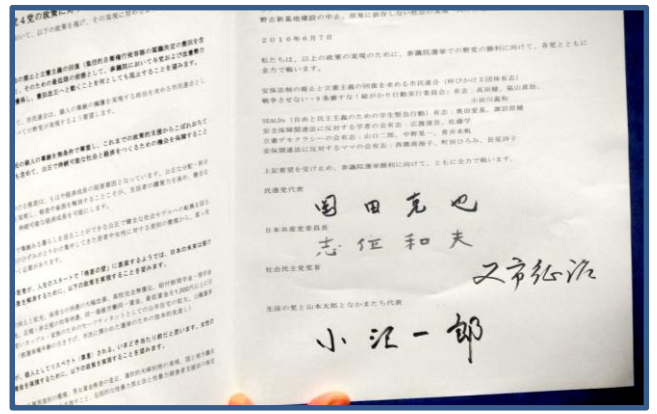


次に各党の代表が政策合意書に署名し、その後、挨拶。民進党の岡田克也代表は「一人一人の生活を大事にする政策を実行していく、また安倍さんがやりたがっている改憲を阻止していきたい。」と述べました。

共産党の志位和夫委員長は「勝つためには4野党と市民が本気で結束して闘うことだ。また、アベノミクスによる国民生活の破壊を許さず、格差貧困をなくす、民意を無視した強権政治を許さない、安倍政権による憲法改悪を許さない、これで、頑張っていきたい」と訴えました。

社民党の又市征二幹事長は「安倍政権の大企業がもうかれればそのおこぼれが下に落ちて来るという政策では落ちてこない。また、安倍政権は自分の任期中に必ず憲法改正をするつもりだ。野党が相互に協力し全力でたたかうことが必要だ。」と述べました。

生活の党の小沢一郎共同代表は、「皆さんからいただいた政策の要望は選挙に勝たなければ実現できない。勝利のためできるだけ努力をしたい」と決意を述べました。



ママの会、SEALDsのメンバーらもかけつけた。6/7 参院議員会館

調印された政策合意文書

明日の決めるのは私たち—政治を変えよう！ 6・5 全国総がかり大行動に 4万人が参加

6月5日、総がかり行動実行委員会と市民連合がよびかけた「明日を決めるのは私たち - 6・5全国総がかり大行動」が国会周辺3会場で実施され4万人が参加しました。また、全国100カ所以上で集会等が開催され、参院選挙勝利、戦争法の廃止、安倍内閣の退陣を呼びかけました。



あらゆる知恵とエネルギーを使って 参院選に勝利して安倍政権の暴走を止めよう

国会正門前の集会では、**菱山南帆子さん (9条壊すな！実行委員会) の司会**で進行、最初に市民連合を代表して**山口二郎さん (法政大学教授・学者の会)**が挨拶し「戦争する国になるのを食い止めるのは今を生きる私たちの最大の責務だ。参院選挙で改憲勢力の3分の2確保を阻止するばかりでなく与党を過半数割れに追い込み、安倍内閣を退陣させる、そのために力を合わせよう！」と呼びかけました。

政党から、**民進党の枝野幹事長、共産党の山下副委員長、社民党の吉田党首**が挨拶し、参院選の1人区すべてで野党共闘が成立したことに触れながら「市民と野党の力で参院選勝利を！」とそれぞれ訴えました。



また、**湯川れい子さん (音楽評論家)**が挨拶に立ち「子どもや孫のことを考えれば、安倍政権のやることは私の感性と合わない。参議院選挙では私たちが18歳以上の人たちを二人三人と口説いて必ず勝ちましょう！」と訴えました。



高野孟さん (ジャーナリスト)は、「安倍政治を見ていて、こんな世の中のまま無責任に死ぬるかと思う。ある議員が今度の選挙の争点は安保ではない福祉だと言っていた。しかし、安保が第一の争点だ。あらゆる知恵とエネルギーを使って安倍政治の流れを断ち切らなければならない」と訴えました。



ママの会の星野さなえさんは、「すべての人がみんな命がけで産んでくれて命がけで育てられた、かけがえのない宝物だ。そんな命が戦争で奪われることは我慢できない。もう戦争で命を奪わないで！それは私の願い。参院選は平和の国か戦争をする国かを問う選挙。平和を願う国民の意思を選挙で示そう。安保法を廃止し、誰の子ども戦争の犠牲にならない平和な日本を一緒に作りましょう。」と呼びかけました。



安保法制違憲訴訟の会の古川健三さん (弁護士)は「東京・福島・高知で安保法の違憲訴訟を提訴。今後も各地で提訴する。憲法を遵守すべき内閣が勝手に憲法解釈を変えることはあまりにもあり得ないことだ。だから、元裁判官や元検事の人も原告団に入っている。違憲訴訟への支援をよろしく」と訴えました。



田中宏さん（一橋大学名誉教授）は「私も安倍政権を訴えている。安倍内閣は議員会館内で市民集会に参加予定だった中国からの参加者の入国を認めなかった。また、安倍政権発足の最初の仕事が高校無償化からの朝鮮学校の除外だった。この二つの事案でその不当さを訴えて訴訟を起こしている。この二つの裁判で勝って安倍政権に負（やいと）をすえたい。」と決意を述べました。



最後に総がかり行動実行委員会の高田健さんが「難しかった野党共闘もとうとう実現した。しかしそれだけでは勝てない。野党と市民と一緒にたたかって安倍政権を倒す。その希望を実現しよう。」と訴えて集会を終えました。

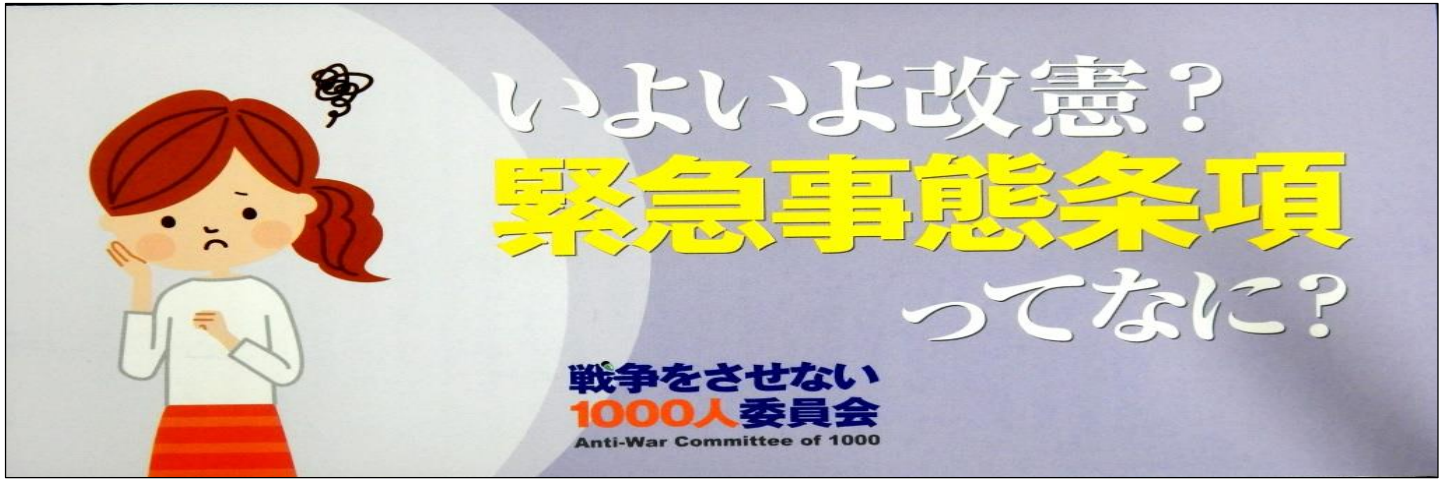


農水省前ステージ



集会は国会正門前ステージのほかに農水省前ステージ、日比谷公園カモメの広場ステージの三カ所で開催。農水省前ステージは「戦争をさせない1000人委員会」が担当。両宮処凛さん、政党からは民進党の菅直人議員、共産党の宮本徹議員、社民党の又市征治幹事長が参加しました。一部右翼団体からの妨害行動がありましたが、国会周辺への参加者4万人とともに参院選挙に勝利し、戦争法の廃止と安倍内閣退陣の実現に向けて奮闘することを確認し合いました。

**戦争法の廃止を求める2千万統一署名
6月末まで継続して取り組もう！**



リーフレットの紹介 [いよいよ改憲？緊急事態条項ってなに？]

ご希望の方は、下記まで。送料負担をお願いします。

戦争をさせない1000人委員会

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-15 塚崎ビル三階

TEL03-3526-2920 FAX03-3526-2921

◆◆◆◆ 主な行動日程 ◆◆◆◆

■ 6月10日（金）18:00～20:30

市民連合リレートーク

場所：全電通会館ホール

登壇者：青井未帆・山口二郎・中野晃一・町田ひろみ
SEALDs・他

主催：市民連合

(安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合)

■ 6月19日（日）14:00～15:30

怒りと悲しみの沖縄県民大会に呼応する

いのちと平和のための6・19大行動

場所：国会正門前

主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

「止めよう！辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会